

第4回

日本医薬品安全性学会 学術大会2018



日本医薬品安全性学会

日時

8/18・19

土

日

会場

倉敷市芸文館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 1-18-1

Drug Safetyの

新時代を開く
一症例報告から
ビッグデータまで一

美観地区

特別講演

ビッグデータから見る医薬品安全性：現状と展望

中山 健夫 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻・健康情報学分野

大会長講演

Drug Safetyの新時代を開く 一症例報告からビッグデータまで一

高柳 和伸 倉敷中央病院 薬剤部

理事長講演

偽薬剤アレルギーから見える 医薬品副作用の発症機序の新分類の提案

宇野 勝次 千葉科学大学薬学部 | 株式会社アインファーマシーズ

大会サイトはこちら



教育講演

添付文書改訂情報の実際

—PMDAからのメッセージ どのように改訂され、現場でどのように利用できるのか?—

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 近藤 恵美子

医薬品安全における薬剤師の役割

～チーム医療における立ち位置を変える～

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 | 医師 狭間 研至

精神科領域における薬物治療の安全性

東北医科薬科大学精神科学 鈴木 映二

臨床現場へのエビデンスの活用

倉敷中央病院総合診療科 | 救命救急センター | 人材開発センター 福岡 敏雄

シンポジウム

防げ！薬剤性腎障害 (DKI:drug induced kidney injury)

～薬剤師の実践行動計画～

熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野

平田 純生

白鷺病院薬剤科

古久保 拓

医療機関と保険薬局の連携が支える がん薬物療法の安全性の向上と その先に見えるもの

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院薬剤部

松井 礼子

Real World Data の利活用に向けて

倉敷中央病院薬剤部

高柳 和伸

倉敷中央病院臨床研究支援センター/小児科

徳増 裕宣

地域連携を通じた医薬品の安全性確保

～高齢化社会を迎え、ポリファーマシーと

どう向き合うか？～

倉敷中央病院薬剤部

高柳 和伸

岡山県薬剤師会倉敷支部/トマト薬局

石元 秀和

『医薬品副作用アセスメント』から DSD, DSSD, CDSID に向けて

千葉科学大学薬学部/株式会社アインファーマシーズ

宇野 勝次

日本医薬品安全性学会認定研究会の 取り組み

中国労災病院

前田 頼伸

吉備高原医療リハビリテーションセンター

富岡 謙二

企業と医療者の間で医薬品安全性情報を 上手く利活用する方法を考える！

～企業における医薬品安全性情報スペシャリストに

求められること～

中外製薬株式会社 医薬安全性本部

大箸 義章

多職種が連携した薬の問題解決に向けた 臨床研究

東京理科大学総合研究院トランスレーショナルリサーチセンター

小茂田 昌代

ワークショップ

01

医薬品有害事例の
臨床解析スキルを身に付ける！

宇野 勝次

02

AMR(薬剤耐性)
対策のための抗菌薬適正使用
支援について考える

奥田 敏勝 / 田坂 健

03

重篤副作用に
いち早く気付くための実践演習

～こんな時、薬剤師としてあなたは？～

小茂田 昌代 / 尾関 理恵

◆事前参加登録費について

	事前参加費	当日参加費
会員	5,000 円	8,000 円
非会員	10,000 円	15,000 円
学生会員	無料	1,000 円
学生(非会員)	1,000 円	2,000 円

大会
事務局

公益財団法人倉敷中央病院 薬剤部
〒710-8602 岡山県倉敷市美和 1-1-1
Tel : 086-422-8840 Fax : 086-425-2106
E-mail : jasds4th@kchnet.or.jp

運営
事務局

株式会社メディセオ 学会支援部
〒104-8464 東京都中央区八重洲 2-7-15
Tel : 03-3517-5519
Fax : 03-3517-5186

主催

日本医薬品安全性学会

共催

岡山県病院薬剤師会
岡山県薬剤師会
倉敷薬業連携の会

後援

日本老年薬学会



日本医薬品安全性学会